



2017年 5月 9日

サノフィ株式会社、社員を対象に 4価髄膜炎菌ワクチン(ジフテリアトキソイド結合体) 「メナクトラ[®]筋注」接種を実施

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、本社および川越工場勤務の社員を対象に、4 価髄膜炎菌ワクチン(ジフテリアトキソイド結合体)「メナクトラ[®]筋注」接種を本年 3 月～4 月に実施したことをお知らせします。

侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD*)は、発症後急速に進行して死に至ったり、適切な治療を受けた場合でも重い後遺症が残るケースのある重篤な感染症です。サハラ以南に髄膜炎ベルトと呼ばれる流行地帯がありますが、国際社会においては、例えば寮等の集団生活やマスギャザリング・イベント(コンサート、観劇、スポーツ観戦、ジャンボリー世界大会など)、流行地域への海外渡航などにより、世界中に国境を越えた感染リスクが潜んでいます。

IMD を予防するワクチンとして、日本ではサノフィの「メナクトラ[®]筋注」が唯一承認されており、13 種ほどあるといわれる髄膜炎菌のうち、起炎菌として報告の多い 4 種に対応しています。この 4 価髄膜炎菌ワクチンは、現在は海外渡航者の任意接種が主ですが、2020 年の東京オリンピックを前に日本への入国者数が年間 2000 万人にのぼり¹、今後さらなる増加が見込まれる中、日本では根絶された、または罹患者数の少ない感染症が海外から国内に持ち込まれる可能性はゼロではありません。そこでサノフィでは、国内外の学会や展示会等のマスギャザリング・イベントへの出展、海外出張などを行う場合にも、社員が安心して業務に携われるよう、希望する全社員を対象に、企業全額負担で同ワクチン接種を実施する運びとなりました。今後は営業社員を対象として実施を継続する予定です。

サノフィのワクチン事業部門であるサノフィパスツールは、今後も医療ニーズに合致したワクチンを通じ、日本の公衆衛生の向上ならびに予防医療環境の充実と普及に努め、人々の健康を守ることに貢献してまいります。

*IMD について詳細は <http://www.imd-vaccine.jp/> をご参照ください。

以上

¹平成 27 年 日本政府観光局調べ



4 髄膜炎菌ワクチン(ジフテリアトキソイド結合体)「メナクトラ®筋注」実施写真



サノフィについて

サノフィは、グローバルヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5つのグローバルビジネスユニット(糖尿病および循環器、ジェネラルメディスンおよび新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、コンシューマー・ヘルスケア)で組織され、パリ(EURONEXT:[SAN](https://www.sanofi.com/stock/SAN))およびニューヨーク(NYSE:[SNY](https://www.sanofi.com/stock/SNY))に上場しています。日本においては、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンの実現に向けて、患者中心志向に基づき、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は <http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

サノフィパスツールについて

サノフィパスツールはサノフィ・グループのワクチン事業部門で、毎年 10 億回接種分以上のワクチンを提供し、世界中で 5 億人以上の人々に対してワクチンの接種を可能にしています。ワクチン業界における世界的リーダーとして、サノフィパスツールは、20 種類もの感染症から人々を守る、世界で最も幅広いワクチンの製品ラインアップを提供しています。「命を守るワクチンを創る」という会社の伝統は、一世紀以上の歴史を有しています。サノフィパスツールはワクチンに特化したメーカーとして世界最大級の企業であり、日々、研究開発に 100 万ユーロ以上を投資しています。